

# 飛騨市における中世城館の保存活用 ～姉小路氏城跡と江馬氏城館跡～

飛騨市教育委員会 文化振興課

## 1. はじめに

飛騨市古川町には、飛騨国司・姉小路氏関連の山城群が点在します。これらは、中世に古川盆地の覇権を巡って繰り広げられた飛騨の歴史を物語る貴重な遺産であり、国史跡レベルの価値があると高く評価されてきました。このため、国史跡指定を目指して平成 29 年度から総合調査を実施するとともに、姉小路氏関連の山城群とその調査を行う意義を郷土の誇りとして位置づけ、保存活用のための調査研究、文化財の本質的価値が伝わるコンテンツの充実に努めてきました。その結果、令和 5 年 10 月には、文化庁文化審議会より国史跡の答申を受けました。

また同市神岡町には地方武士・江馬氏に関する城跡群も所在します。そのうち下館跡は、県内唯一の国史跡・名勝の二重指定を受けた価値が高い文化財です。近年はまちづくり団体と活用を図り、地域資源として「神岡らしさ」を体現する市の文化観光の中核として位置づけられる存在です。

これら貴重な歴史遺産として後世に残すべく、整備・保存・活用のための推進事業にやりがいをもって、職員は事業に取り組んでいます。



国史跡・名勝 江馬氏館跡の庭園

## 2. 姉小路氏城館群の概要

### (1) 姉小路氏城跡

飛騨国司の姉小路氏が居所としていたと伝わる城館群で、小島城跡・古川城跡・向小島城跡・小鷹利城跡・野口城跡の 5 城からなります。14 世紀後葉に飛騨国司となり三家に分立した姉小路氏が、各々の拠点に築いた中世山城群です。後に同地へ進出する三木氏や金森氏の手による改修の跡も良好に残り、中世飛騨国の支配勢力の変遷を物語る山城群と言えます。

#### <城跡の価値>

- ① 城郭遺構が良好な保存状態で残っています。
- ② 巨大な堀切や切岸に代表される「土造りの城」の到達点ともいべき戦国時代の城遺構が存在します。また、算木積みの石垣を伴う杢形虎口のような織豊系城郭の特徴を持つ山城もあり、支配勢力（姉小路氏・三木氏・金森氏）の推移を確認できます。



古川城跡にある石垣

### (2) 江馬氏城館跡

江馬氏城館跡は、居館であった下館跡と本城・高原諏訪城跡など江馬氏と関連する 6 つの山城からなる史跡であり、昭和 55 年に国史跡に指定されました。令和 5 年には、傘松城跡も江馬氏関連の城館で歴史的価値が高いとして、追加指定の答申を受けました。江馬氏は鎌

倉時代から安土桃山時代まで北飛驒を中心に所領を持った一族です。傘松城跡は、周辺の城館や街道、集落を見下ろす位置にあり領域支配の拠点的な役割を担っていたと考えられます。

#### <城跡の価値>

- ① 発掘調査で発見された庭園や建物の遺構と出土遺物等から、江馬氏がおこなっていた設え・儀礼・饗応等の様子が理解できます。
- ② 庭園・会所建物・主門等の復元展示から、応仁の乱後の地方への文化の伝播を現地で学ぶことができます。また背景の山並みも含めて往時の庭園景観を体感することができ、全国的にも希少価値の高い遺跡です。
- ③ 姉小路氏城館跡同様、巨大な堀切や急峻な切岸に代表される「土造りの城」の到達点とも言ふべき、飛驒の城造りの特徴をよく表す山城群があります。

### 3. 近年の事業内容

#### (1) 姉小路氏城跡

- ① 平成 30～令和 2 年度まで、総合調査としての測量調査・発掘調査・文献調査・歴史地理調査を行い、城跡群の特徴や価値付けの明確化を図りました。調査の適性と客観性を担保するために、専門家で組織する委員会組織（姉小路氏城館跡調査指導委員会）による調査内容の検討を進めました。
- ② その成果を令和 4 年度にまとめ、総括報告書を刊行しました。
- ③ 令和 3～4 年度に地権者に史跡指定の同意を受け、令和 4 年度末に文化庁へ意見具申を行い、令和 5 年度に史跡答申を受けました。
- ④ 調査研究の内容を広く発信するために、令和 5 年度に企画展・山城ツアーを実施しました。

#### (2) 江馬氏城館群

- ① 史跡名勝として適切な保存活用を図るため、平成 30 年度に保存活用計画を策定しました。
- ② 全国的にも稀である庭園と建物を、名勝として適切に維持管理するため、奈良文化財研究所・一乗谷朝倉氏遺跡博物館と連携して庭石の保存方法を検討しています。
- ③ 保存と活用の適性と客観性を担保するために、専門家による委員会、江馬氏城館跡整備委員会を組織し、調査研究を進めています。
- ④ お茶会やお月見会などの歴史体験イベントや江馬氏に関する歴史講座を、神岡まちづくり実行委員会とともに実施しました。
- ⑤ 土壁塗りや堀の修復など史跡の維持管理を地元の小学校・関係人口と共働し実施しました。
- ⑥ 平成 30 年度に傘松城跡の調査報告を行い、令和 5 年度に史跡答申を受けました。

### 4. おわりに

姉小路氏城跡については、来年度以降に保存活用計画を策定します。それにより、江馬氏の山城跡とともに、山城の散策ができるようなサイン整備やガイドの育成を行います。これらの事業を市内外の方々とともに実施し、また岐阜県内外へ情報を発信し、多くの方と価値を共有することにより、観光や地域活性化の拠点とします。



山城ツアーの様子